

[532]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 532

<https://doi.org/10.15017/4791867>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 532, pp. 1-9, 1995-12-21. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :





大型計算機センターニュース

福岡市東区箱崎六丁目10番1号
九州大学大型計算機センター

目 次

1. 汎用コンピュータの更新に伴う計算サービスの一時停止のお知らせ（再掲）	1
2. オープン利用機器の配置について	2
3. 平成7年度の利用者旅費について	4
4. ライブラリサーバのテスト運用のお知らせ	4
5. 新ポストスクリプトプリンタのサービス開始について	4
6. 端末サーバの運用について	5
7. 新汎用コンピュータのアクセス電話番号について	7
8. 新汎用コンピュータ利用説明会の開催について	8
9. 「オンライン・データベース利用ガイド（第15版）」発行のお知らせ ..	8
10. 夜間通話料を低減する「テレホーダイ1800・3600」について	9

1. 汎用コンピュータの更新に伴う計算サービスの一時停止のお知らせ（再掲）

このことについて、汎用コンピュータの更新のため次のとおり計算サービスを一時停止します。

年 月 日（曜）	利用 者 サ ー ビ ス	セ ン タ ー 内 作 業
平成7年12月25日（月） 12時	平成7年の計算サービス終了	
平成7年12月25日（月） 12時 ～ 平成8年 1月 8日（月） 9時	計算サービス停止	＊システムバックアップ作業 ＊汎用コンピュータの入替え作業 ＊システムの変更作業 ＊動作確認テスト作業
平成8年 1月 8日（月） 9時	平成8年の計算サービス開始	

（システム運用掛 内線2517）

2. オープン利用機器の配置について

センターニュースNo.527でお知らせしました2階オープン室等の改修工事は、平成7年11月30日で終了しました。工事期間中のご協力有り難うございました。12月1日からは、従来のデバッグ室、利用者控室等の名称を図1のように変更しました。なお、平成8年1月8日（月）から、オープン利用機器は図1のように配置してサービスいたします。各室の用途目的および配置されている主な機器は以下のとおりです。

ワークステーション室

ここには、画像処理やグラフィック処理等の利用をするためのワークステーションを設置します。設置している主な機器およびソフトウェアは以下のとおりです。

- qgas-01(旧qgas), qgas-02, qvisa

画像処理用のAVS等のソフトウェアが利用できます。

- gws-01, gws-02

α-FLOW, MASPHYC等のソフトウェアが利用できます。表示画面をカラープリントする装置を1台設置します。

- medics

8mmテープ装置、4mmテープ(DAT)装置、1/4インチカートリッジテープ装置、ポストスクリプト対応フルカラープリンタ(A4サイズ)の利用ができます。また、Mentat IIのソフトウェアが利用できます。

- qviss

Mentatのソフトウェアが利用できます。また、フルカラープリンタ(A5サイズ)が利用できます。

オープン機器室

ここには、プログラムのデバッグをするための端末やプリンタおよびパソコン等を設置します。設置している主な機器は以下のとおりです。

- X端末

X-Windowを使用してUXPやMSP等のホストへ接続して利用する端末を12台設置します。

- MSP専用端末

MSPへ接続して利用する専用端末を2台設置します。MSP上のすべてのアプリケーションが利用できます。

- パソコン端末

DOS/V系のFMVを2台、DOS系のFMR、PC9801を設置します。フロッピーとホスト上のファイルの相互転送やWindowsが利用できます。

- ネットワークプリンタ

ポストスクリプト対応の解像度400dpiのカット紙プリンタ(A4/B4)です。UXPから出力できます。

- A4プリンタ、B4プリンタ

解像度240dpiの連続紙プリンタです。A4用紙とB4用紙の2台あります。MSPから出力できます。

- CMT, MT

1/2インチカートリッジテープや磁気テープ(6250bpi, 1600bpi)が利用できます。

プログラム相談室

プログラムやアプリケーション等のエラーに関する相談をします。FMVとX端末を設置しています。

談話室

休憩室としてご利用ください。

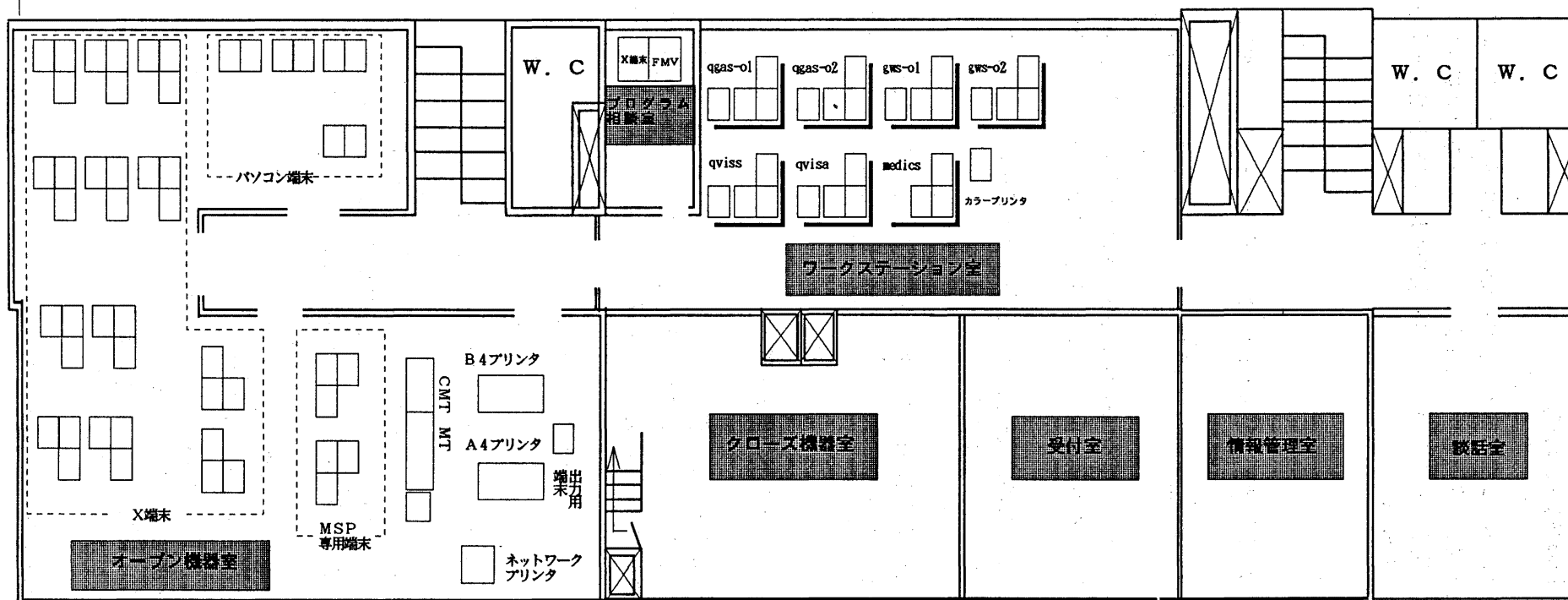
受付室、クローズ機器室、情報管理室

センター内機器の利用やトラブルに関する相談は受付室へ申し出ください。クローズ機器室および情報管理室への一般利用者の立入は禁止します。

図 1

九州大学大型計算機センター 2 階平面図

新システムの機器配置図



(システム運用掛 内線 2517)

3. 平成7年度の利用者旅費について

遠隔地の利用者が、本センターへ出向き計算機を利用する場合、利用者からの申請に基づいて利用者旅費が支給される制度があります。この制度は本センターを利用するための環境が、不十分な遠隔地の利用者の便宜を図るためのものです。本制度を利用して計算機の利用を希望される方は、下記により手続きをしてください。

記

1. 対象者

遠隔地の利用者。文部省科学研究費補助金による利用者は支給の対象外です。

2. 出張期間

センター滞在日数は原則として3日以内とし、出張期間は4泊5日以内とします。

3. 支給旅費

国家公務員等の旅費に関する法律等に定める運賃、日当及び宿泊費が支給されますが、予算の制約がありますので、出張期間の短縮を含めた調整をさせていただく場合があります。

4. 申込み方法

平成8年3月末日までの出張計画をたて、連絡所備え付けの「利用者旅費支給申請書」を平成8年1月19日までに、連絡所に提出してください。

- ・その他出張利用に関して不明な点がございましたら、本センター共同利用掛 (TEL:092-641-1101 内線 2505, 2515) までお問い合わせください。

4. ライブラリーサーバのテスト運用のお知らせ

センターニュースNo.531でお知らせしたライブラリーサーバ (FUJITSU S-4/1000E) wisdom のサービスは、1月8日から31日までテスト運用とします。また、正式運用を2月1日からとします。なお、テスト運用期間中の利用負担金は徴収しません。どうぞご利用ください。

(システム運用掛 内線2517)

5. 新ポストスクリプトプリンタのサービス開始について

1月8日から新ポストスクリプトプリンタ (FUJITSU F6671INT) のサービスを開始します。

NLP (日本語ラインプリンタ) は当面MSP専用になりますので UXP からの出力はこのプリンタをご利用ください。また、従来使用して頂いたポストスクリプトプリンタのサービスは停止します。

設置場所	2階オープン機器室
利用負担金	1ページにつき4円です。
印刷速度	A4用紙、片面印刷で約30ページ/分、両面印刷で約28ページ/分です。 *両面印刷が可能です。
用紙	カット紙でA4、B4が使用できます。
解像度	400×400dpiです。

詳しくは、装置側の手引書をご覧ください。

(システム管理掛 内線2518)

6. 端末サーバの運用について

1996年1月8日からUXP (ホスト名 kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp, IPアドレス 133.5.9.1) の交換回線経由のアクセスが端末サーバ経由に変更になります。この端末サーバは無手順による接続に加え、PPP(Point to Point Protocol)によるダイヤルアップIPの接続も可能です。

1. 無手順による接続

ログイン名

UXPと同じログイン名です。

パスワード

UXPと同じパスワードです。

課金

1分につき0.5円の接続負担金をUXPで徴収します。

ファイル

ディスク容量が十分ありませんので、一時的な作業ファイル以外は作成しないで下さい。

ファイルは定期的に消去します。

アクセス電話番号

V.34(28.8Kbps) 092-631-1839

ISDN(19.2Kbps), V.32bis(14.4Kbps) 092-642-1053

UXPへの接続

端末サーバに電話をして接続し一旦ログインします。次にtelnet や ftp 等で kyu-cc に接続してUXPを利用します。

ファイル転送

パソコンとUXP間でのファイル転送は直接できません。UXPと端末サーバ間はftp を利用し、端末サーバとパソコン間はxmodem (sx コマンド) や kermi t を利用します。

使用例

```
atdp6311839
CONNECT 28800/LAPM-V
kyu-ts login:a79999a
Password:xxxx
Last login: Tue Nov 7 19:19:47 on ttyb
SunOS Release 4.1.4-JLE1.1.4 (HSIS) #2: Tue Nov 7 15:29:46 JST 95
**** statistics and charges ( a79999a ) ****
**      total size of reserved files      =      74 KB      **
**      total charge                       =      21212 yen   **
**      budget was exhausted !! budget     =      20000 yen   **
*****
kyu-ts% telnet kyu-cc
Trying 133.5.9.1...
Connected to kyu-cc.
Escape character is '^'.
UXP/M TELNET (kyu-cc)
login: a79999a
Password: xxxx
Fujitsu UXP/M (kyu-cc)
Copyright (c) 1984, 1986, 1987, 1988 AT&T
Copyright (c) 1990, UNIX System Laboratories, Inc.
Copyright (c) 1991, 1992, 1993 FUJITSU LIMITED
All Rights Reserved
Last login: Tue Nov 14 23:08:15 on tae.cc.kyushu-u
**** statistics and charges ( a79999a ) ****
**      total size of reserved files      =      66 KB      **
**      total charge                       =      15000 yen   **
**      budget was exhausted !! budget     =      10000 yen   **
*****
*** announce ***
      Next maintenance time: 5:00 - 12:30 on Nov.22
Terminal Type:vt100
kyu-cc% exit
Connection closed by foreign host.
kyu-cc% exit
kyu-cc% logout
NO CARRIER
```

2. PPPによるダイヤルアップIP接続

パソコンと端末サーバを一時的にIP接続し、パソコンから直接 telnet, ftp が利用できます。

ログイン名

UXPのログイン名の末尾に小文字の p を付加したものです。これは、ユーザ登録が必要です。登録方法は、端末サーバに無手順で一旦ログインしてpppreg コマンドを入力して、PPP ユーザを登録します。

```
kyu-ts% pppreg
```

```
OK. PPP login name=a79999ap
```

パスワード

UXPと同じパスワードです。

課金

1分につき0.5円の接続負担金をUXPで徴収します。

ファイル

ディスク容量が十分ありませんので、一時的な作業ファイル以外は作成しないで下さい。

ファイルは定期的に消去します。

アクセス電話番号

V.34(28.8Kbps) 092-631-1839

ISDN(19.2Kbps), V.32bis(14.4Kbps) 092-642-1053

UXPへの接続

パソコンから直接に telnet でkyu-ccに接続してUXPを利用します。

ファイル転送

パソコンとUXP間で ftp によるファイル転送ができます。

パソコン側の設定

パソコン側で PPP 接続時の電話番号、ログイン名、パスワード、ネームサーバ(133.5.8.16)、ドメイン名(cc.kyushu-u.ac.jp)の設定を行います。必要があれば使用漢字コード(EUC)登録等を行います。PAP, CHAP による接続は行わないように設定してください。

この設定は一度行えば次回から必要ありません。

IPアドレスは端末サーバから自動的にパソコンに割り当てられます。

使用例 (アライドテレシス社のPCTCPを用いた例)

パソコンと端末サーバを接続する

```
ppp -b 19200 -m
```

```
pppdrv
```

```
up.bat
```

パソコンからUXPにtelnetで接続する

```
vtn kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp
```

パソコンと端末サーバの接続を切断する

```
down.bat
```

その他

- ・ダイヤルアップIPによるPPP接続は、パソコンを本センターのLAN端末として利用することと等価です。したがって接続完了後はtelnetやftpの他、NetscapeやEudoraなどの全てのTCP/IPアプリケーションが利用できます。
- ・使用例のPCTCPのほか、windowsのInternetOfficeとMacintoshのMacPPPについても接続確認をしています。
- ・異機種間で接続確認がされていないモデムやISDN-TAがありますので、購入の際は当掛までご相談下さい。
- ・不明な点があれば以下の宛先へお問い合わせ下さい。

request@cc.kyushu-u.ac.jp

(ネットワーク掛 内線2543)

7. 新汎用コンピュータのアクセス電話番号について

1996年8月1日からサービスする、新汎用コンピュータシステムのアクセス電話番号を下表に示します。MSPについては従来からの変更はありません。UXPはセンターニュースNo.528でお知らせしたとおり、UXP用端末サーバからのアクセスに変更になります。端末サーバの利用法は本号センターニュースをご覧下さい。

接続システム	通 信 速 度	制御手順	電 話 番 号
M S P	2400～14400 (V.32bis)	T T Y 無手順	092-631-3308
	19200 (ISDN回線交換)	T T Y 無手順	092-642-1052 サブアドレス 310
	300～9600 (V.32) (学情網アクセス点接続)	T T Y 無手順	別表のアクセス点に電話をかけ、この後??NACSIS-NET??の表示に続いて9812000
	300/1200 (第2種パケット交換)	T T Y 無手順	163-060-9521608
	300～19200 (INSPケット通信)	T T Y 無手順	1-4401-9521608
	2400	H D L C	092-641-3689
	19200 (ISDN回線交換)	H D L C	092-642-1052 サブアドレス 300
U X P 用*1 端末サーバ	2400～28800 (V.34)	T T Y 無手順	092-631-1839
		P P P	
	19200 (ISDN回線交換) 2400～14400 (V.32bis)	T T Y 無手順	092-642-1053
		P P P	
	300～9600 (V.32) (学情網アクセス点接続)	T T Y 無手順	別表のアクセス点に電話をかけ、この後??NACSIS-NET??の表示に続いて9817400
	300～19200 (INSPケット通信)	T T Y 無手順	1-4401-9524311

T T Y 無手順による通信方式

システム	通信方式	フロー制御	データ長	パリティビット	ストップビット	日本語コード*	備 考
M S P	全二重*2	RS/CS	7ビット	偶数(EVEN)	1ビット	新JIS	
U X P 用 端末サーバ	全二重	RS/CS	8ビット	なし(NONE)	1ビット	ソフトJIS/EUC	

*1 端末サーバに接続してloginした後、telnetでUXPにloginする。

*2 通常の全二重方式と違いホストからエコーバックがないので、パソコン等の端末側では「半二重」を指定すること。

学情網アクセスポイント一覧

設 置 場 所	電 話 番 号	設 置 場 所	電 話 番 号
北 海 道 大 学	011-746-0608	大 阪 大 学	06-878-9864
東 北 大 学	022-268-7706	広 島 大 学	0824-22-9353
学術情報センター	03-5395-1285	九 州 大 学	092-632-5057
名 古 屋 大 学	052-781-5995		

8. 新汎用コンピュータ利用説明会の開催について

本センターでは平成8年1月8日（月）から新汎用コンピュータ FUJITSU M-1800/20U の運用を開始します。これに伴い標記説明会を下記の要領で開催いたします。

受講希望者は、共同利用掛（内線2532）にお申し込みください。

記

- 日 時 平成8年1月19日（金） 10時00分 ～ 12時00分
- 受付時間 9時30分 ～ 9時50分
- 募集人員 40名
- 内 容 新汎用コンピュータシステムのハードウェア・ソフトウェアの紹介と利用方法
- 会 場 大型計算機センター 多目的講習室（3階）
- テキスト センターで用意
- 時 間 割

10:00

12:00

新システムのハードウェア・
ソフトウェアの紹介と利用方法の説明

- 申込期間 平成8年1月8日（月） ～ 1月12日（金）

9. 「オンライン・データベース利用ガイド（第15版）」発行のお知らせ

この度「オンライン・データベース利用ガイド（第15版）」が発行されました。

7大学の全国共同利用大型計算機センター及び学術情報センターでは、それぞれデータベースのオンラインサービスを行っており、利用者はコンピュータ・ネットワークあるいは交換回線（電話）などを介して手近な端末から、どのセンターのデータベースでも利用できるようになっています。

この利用ガイドは、各センターのデータベース・サービスの概略と簡単な利用法について解説したものです。ご希望の方は、氏名・身分・登録番号・所属を記入した文書で共同利用掛までお申し込みください。

（共同利用掛 内線2515）

10. 夜間通話料を低減する「テレホーダイ 1800・3600」について

当センターでは、12月よりPPPによるダイヤルアップIP接続サービスを開始し、24時間インターネットが利用できるようになりました。また、「通話料を気にせずに長時間パソコン通信ができたらいいな」という利用者の要望を取り込んだサービスを、NTTが「テレホーダイ1800・3600」という商品名で一般公衆回線上でサービス開始しました。

テレホーダイとは、市内区域または隣接区域より深夜・早朝時間帯（夜11時～翌朝8時）に、パソコン通信等を利用して月々の通話料が1800円（市内区域）、3600円（隣接区域）以上支払っている方の通話料金割引サービスです。利用者は、「テレホーダイ1800・3600」を契約し、相手先特定の電話番号を登録することによって、月々定額通話料（1800円または3600円）を支払うだけで、超過分の通話料がサービスとなります。

当センターの端末サーバのアクセス電話番号（092-631-1839）をテレホーダイの対象電話番号にすることにより、夜間端末サーバを多く利用される方（月々9時間以上）はメリットがあります。検討されてはいかがでしょうか。

テレホーダイについてのお問い合わせは、フリーダイヤル(0120-493019)か、局番なしの「116番」または、お近くのNTTの各支店・営業所となっています。

（ネットワーク掛 内線2543）